

「中学生の音楽1」(令和3年度用～)
p.21「My Melody」展開例

「カトカトーン」の活用例や
オススメ情報をお届けします!

カトカトーン 通信

vol. **1** 改訂版

教育芸術社



My Melody

音のつながり方の特徴を生かして
旋律をつくろう。

STEP1

和音が入力された ktk ファイルを開く

カトカトーンを開き、
【ファイルを開く】を選ぶ。



「1nen_mymelody (.ktk)」という
ファイルを開く。




1nen_mymelody.ktk

SUPPORT

トラック2に和音があらかじめ
入力された ktk ファイルは、下
の二次元コードからダウンロー
ドできる。事前に
生徒に配付してお
くとよい。



SUPPORT

- おたまチョップは、本教材の
最小単位となる8分音符に設
定されている(画面下部より
変更可能)。
- 初期設定よりも長い音価の
ノート(音)を入力する場合は、
入力後、そのままのばしたい
分だけ右にドラッグしても、
ノートの長さを変更すること
ができる。
- このファイルでは、選択でき
る音を白鍵のみに制限してい
る。画面下部の  から設
定の変更が可能(最終ページ
参照)。

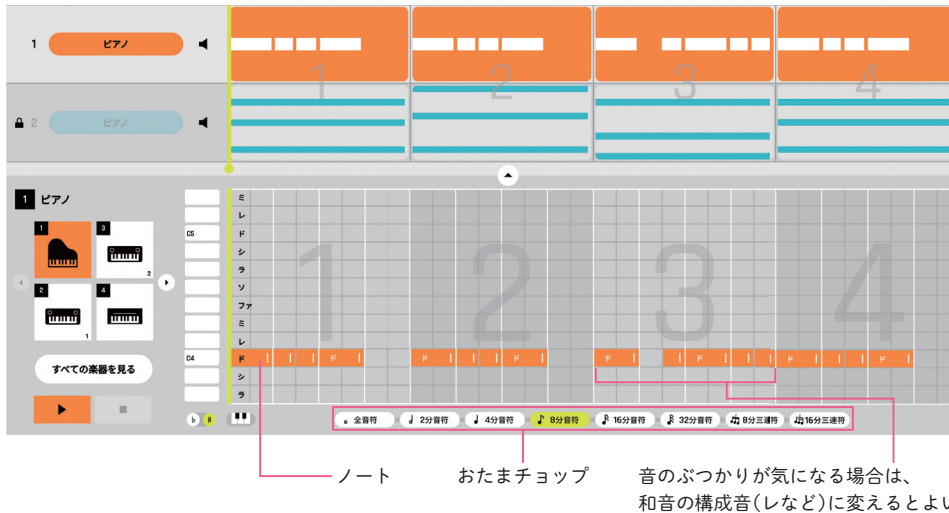
STEP2

「リズムチャレンジ」(教科書 p.17) でつくったリズムを、
同一音(ド(C4)など)でトラック1に打ち込む

つくったリズムの例



つくったリズムを打ち込んだカトカトーンの画面



つくったデータを適宜保存する。



POINT

表したい創作表現を円滑に創意
工夫して行うことができるよう
にするための下準備である。

SUPPORT

ある程度まとまったところで
ktk ファイルを保存しておく
とよい(最終ページ参照)。なお、保
存するたびに新しいファイルが
でき、上書きされないため、フ
ァイル名を変えるなど工夫して
管理する。

SUPPORT

●トラックの再生や停止は画面
上部のボタンで行う。



●パート名横のボタンでミュ
ートのオン/オフを切り替
えることができる。



POINT

カトカトーンを用いる場合でも、
自分がつくりたい旋律の音の動
きをイメージしたり、自分が工
夫した点を言語化したりする
など、思いや意図をもって創作
することが大切である。

STEP3

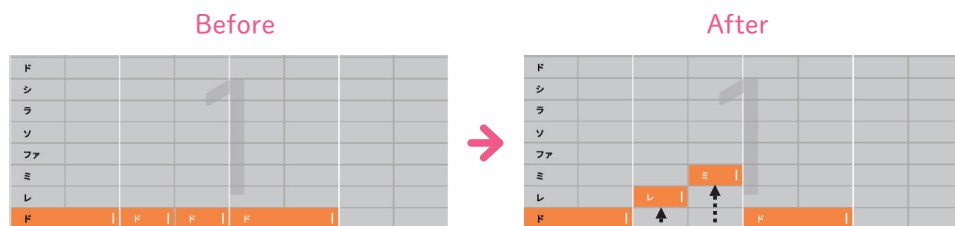
打ち込んだリズムと和音を繰り返し再生したり、
それに合わせてリズムを手拍子で打ったりして、
自分がつくりたい旋律の音の動きをイメージする

STEP4

表したいイメージに合わせて ノートの音高を変更し、旋律をつくる

STEP 2で打ち込んだノートを上下に動かして、音のつながり方を工夫しながら旋律をつくる。旋律ができたなら再生して、イメージに合った音のつながり方になっているかを確認する。中間発表をしてつくった旋律について意見交換をし、それを参考に旋律を完成させる。

打ち込んだノートを動かしている様子

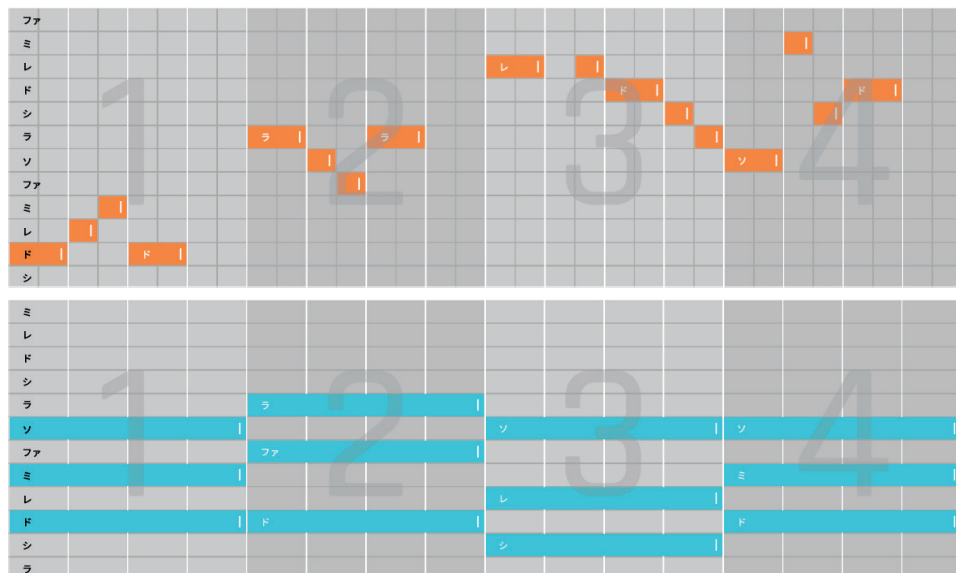


寄り道 好きな音色を探して変更してもよい
つくった旋律のイメージに合った音色を選ぶ。

STEP5

完成したファイルを五線譜に変換して提出する

ファイルの「曲を書き出す【楽譜】」を選択して五線譜にする。



五線譜で示したもの



POINT

- 再生機能を活用することで、生徒は演奏技能に左右されずに創作の学習に集中できる。
- 「使う音」は、教科書のようにある程度制約したほうが指導しやすい。
- 発表の際に、音だけでなく視覚的にも作品を確認しやすくなるため、他者への共有がスムーズとなる。その結果創作表現に対するの思いや意図を確認し合えて、共感を促すきっかけとなる。

POINT

- 音色の選択は「課題」には含まれないが、生徒の興味・関心を高めるために活用するとよい。なお、このファイルの初期設定は「ピアノ」になっている。
- このファイルでは、トラック2に打ち込まれた和音のノートを誤って消去してしまうことがないように機能制限をかけている。トラック2の音色変更を活動に組み込む場合は、事前に制限の解除をしておくことよ(マニュアル参照)。

POINT

- 打ち込んだ内容が五線譜になることで、より達成感が味わえる。
- 音のつながり方をどのように工夫したかについて、アプリの画面上だけでなく、五線譜で表記することで、より音楽的な視点で振り返ることができる。

SUPPORT

- 五線譜はPDFファイルで保存される。その他、MP3ファイルやMIDIファイルで保存することもできる。
- ファイルの提出や共有は、学習支援ソフトウェア等を用いる。

SUPPORT : 操作上の補足説明
POINT : 指導上のポイント
ADVICE : 発展的な内容

Challenge

自分の好きなコード進行で旋律をつくる

「中学生の器楽」の「アンサンブル」(p.76～85) や、自分の好きなアーティストの曲から気に入ったコード進行を選んで応用するとよい。

ADVICE

ポピュラー音楽のコード進行の例 (ktk ファイル)。



操作方法

オトグラフに表示する音の設定方法（使う音の制限）



鍵盤をクリックすることで、音の表示／非表示の切り替えが可能。

ktk ファイルの保存の仕方

①【ファイルボタン】



②タイトルを入力する



ファイルは、端末のダウンロードフォルダ等に保存される（ブラウザの設定で異なる）。

カトカトーン4つのポイント

- WEBブラウザを通じて無料で使用できる
- 簡単な操作で打ち込みができる
- 100種類以上の音を選べる
- つくった音楽を共有できる



本編でつくられた
ファイル



使い方・資料
(マニュアル)

本資料の二次元コードからアクセスできるデータは、以下の URL からご覧いただけます。

<https://www.kyogei.co.jp/katokatone/info/>

「カトカトーン」の詳細は右のウェブサイトをご参照ください。



2024年4月発行

株式会社 教育芸術社

〒171-0051

東京都豊島区長崎1丁目12番14号

Tel : 03-3957-1175 (代)

Fax : 03-3957-1174

